

陳 述 書

1. 私、田中哲朗は、沖電気株式会社の株主です。上田恵弘さんが出席された2002年株主総会と2003年株主総会に出席しています。

2. 2002年株主総会での上田恵弘さんの強制排除の状況について陳述します。

3. 私は2002年株主総会のときそのときの音を録音していました。上田さんが強制排除したときの録音を探しましたところ、見つかりましたので、その部分のテープ起こしをしました。テープ起こしをしながら、そのときの様子を鮮明に思い出しました。

4. 上田恵弘さんが、2002年株主総会において沖電気株式会社の警備員により強制排除された時、私は既に強制排除を受け、総会会場建物のロビーのようなところにいました。

そこに上田さんが出されて来ました。私の目の前で、会社警備員が上田さんに物理的力を加えていたかどうかの記憶はありませんが、私自身が非常に手荒な扱いを受けて会場から出されたので、上田さんも同じ扱いを受けたと思いました。

私が取っていた録音を聞くと、排除された上田さんが怒って怒鳴りながら出されてくる様子を思い出します。

5. 最初、上田さんの上着が破れていることには気がつきませんでした。話しているうちに上着が破れていることに気がつき、上田さんにそのことを言いました。裁判で、沖電気は「上着は最初から破れていたのではないか」と言っているようですが、あのような破れ方をした上着を着てくる人はいません。

私は、会社が暴力をふるったことの証拠になると思って上田さんの写真をその場で撮りました。場所は株主総会の行われた建物のロビーのようなところです。その写真が甲第1号証として提出されたものです。

6. また、写真を撮ろうとすると警備員に妨害されたので、上着が警備員による排除の際破かれたことを警備員に伝え、抗議しました。上田さんは上着が破かれたことを社長に伝えるよう求めました。

7. 裁判で、沖電気から甲第1号証の写真が不鮮明であると言われたそうなので、2004年1月14日に上田さんの家に行き、上田さんが保管していた上着の写真を撮りました。上田さんは、株主総会后その上着には全く腕を通していないとのことですが、2002年株主総会で破かれたときの印象から全く変わっていませんでした。このとき撮った写真が甲第1号証として提出されたものです。

以上の通り、陳述いたします。

平成16年 1月24日

住 所 東京都八王子市櫛田町1214-1-707

氏 名 田 中 哲 朗